

事務事業名		市民環境リポーター育成支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	1	地域の特色を活かした快適なまちづくり				担当	担当部	市民生活部	担当課	環境政策課
	政策	3	環境にやさしいまちづくり				担当組織	担当係	環境政策係	担当課長名	川俣 浩
	施策	2	良好な生活環境と豊かな自然環境の保全				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3	自然保護活動の充実と環境学習の推進				実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	7726	会計	一般	4	1	5	市民環境リポーター育成支援事業			
	事業計画		単年度繰り返し	事業期間	H19年度～ 年度		根拠法令 条例等	市単独事業・国県補助事業		市単独事業	
								任意的事業・義務的事業		任意的事業	
							実施方法		直営		
							事業分類		人材育成事業		
							リーディングプロジェクト		該当なし		
							市長マニフェスト		該当なし		

1. 事務事業の現状把握[DO]

(1)事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成28年度実績(平成28年度に行った主な活動内容)					
身近に触れ合える生物の生息環境や、暮らしに密着した緑地・水辺・屋敷林などの自然環境が果たす諸機能についての重要性や大切さを理解し、身近な動植物、鳥、昆虫等の生息状況を調査するため、市民環境リポーターを募集する。また、自然観察会の開催や学校、家庭、地域における環境教育を推進するリーダーを育成・支援することにより、市民が自然環境の大切さを学び、自然保護に取り組むための活動を推進する。		自然観察会の実施 ・ホテルの観察会 ・昆虫(セミの羽化)の観察会 ・野鳥観察会					
活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
自然観察会の開催回数		回	7	7	6	6	7

②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

市民	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
	人口	人	123,182	122,582	121,522	120,683	120,018

③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

身近な自然に目を向け、さまざまな生き物の生態を学び、自発的に自然保護活動に取り組むことができる市民環境リポーターを育成する。		成果指標					
自然観察会参加数		人	158	116	123	117	250
市民環境リポーター数		人	30	30	35	37	34

④結果(どのような結果に結びつきますか?)

自然環境を大切にしている心が育成されている。		上位成果指標					
市民環境リポーター数		人	30	30	35	37	34

(2)総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)		
	国庫支出金	千円							
	県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円	4	4	5	5	30		
	一般財源	千円	130	121	117	110	85		
	事業費計(A)	千円	134	125	122	115	115		
	事業費の内訳	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
		8-1 報償金	109	8-1 報償金	101	8-1 報償金	110	8-1 報償金	110
		11-1 消耗品費	21	11-1 消耗品費	20	11-1 消耗品費	7	11-1 消耗品費	5
12-15 傷害保険料		4	12-15 傷害保険料	4	12-15 傷害保険料	5	12-15 傷害保険料	4	
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2		
	のべ業務時間	時間	200	200	200	200	200		
	人件費計(B)	千円	778	788	779	768	768		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	912	913	901	883	883		

事務事業名	市民環境リポーター育成支援事業	担当部	市民生活部	担当課	環境政策課	担当係	環境政策係
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成19年度から環境基本計画策定の準備を始めたことに伴い、事業を開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	市民の意識調査の結果でも多くの方が環境問題に強い関心を持っている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	参加者からは、野鳥、昆虫、植物、森など、様々な内容で実施してほしいとの要望が多く寄せられている。

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
目的(対象・意図)再設定	・自然観察会参加者にリポーターへ登録してもらった。
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	・観察会への参加者数を増やすため、興味をひく内容を取り入れた。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 市民環境リポーターの育成は、自然保護活動や環境学習の推進につながり、政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
有効性 評価	委ねられる・委ねられる可能性がある	理由・改善案 事業の実施にあたっては、民間団体等との協働により実施することが必要である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 市民環境リポーターの育成を目的に、自然観察会を開催する事業であり、妥当である。
効率性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案 民間団体等と連携し、実施時期、時間、曜日などの内容を見直すことにより、成果向上の余地がある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
公平性 評価	類似事務事業はあるが、統合・連携できない	理由・改善案 類似事務事業名 みんなの元気な森づくり支援事業、森林環境学習支援事業 みんなの元気な森づくり支援事業、森林環境学習支援事業は、県支出金で実施しているため、統合はできない。
	*類似事務事業があれば、名称を記入	
	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
総合 評価	削減の余地はない	理由・改善案 必要最小限の事業費と人件費で実施している。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案 参加者は保険料を負担している。
⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	制度を廃止すれば、終了することができる。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1)今後の事務事業の方向性	(2)改革・改善による期待効果	(3)改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。	
*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	コスト	
①市民環境リポーターの活動が行われていないことから、制度を見直す必要がある。	削減 維持 増加	
	向上 ○	
	維持 ×	
	低下 × ×	